



令和2年度「学校・家庭地域連携推進事業」

家庭教育支援研修会

主催：愛媛県教育委員会

コロナ禍をはじめとする社会の変化に対応した多様な支援方法を探る

～オンラインでつながる全国の先進事例と愛媛の家庭教育支援～

今年度の研修の目玉！

①いつでも だれでも どこでも 学べる！

コロナ禍に対応したオンデマンド配信（YouTubeによる動画配信）

②先進的な3事例の視聴が可能！

令和元年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰受賞3チーム

③愛媛県内の家庭教育支援チームも動画に出演！

県内の家庭教育支援チームの関係者が代表質問等を行う。

がんばるけん
えひめけん！



研修の流れ



① 事前質問の受付

別添の各チームの活動概要を見て、事前の質問があれば **1月20日（水）** までにお送りください。

② 先進事例を動画視聴

愛媛県教育委員会社会教育課HPの
令和2年度家庭教育支援研修会から
YouTubeによる動画配信により、



2月15日（月）～26日（金）の期間に視聴

URL: <https://ehime-c.esnet.ed.jp/shougai/index.html>



（動画のイメージ）

③ 視聴後の質問受付

アンケート（質問）を3月1日（月）まで受付

④ 質問への回答をホームページに掲載

【北海道】

釧路市家庭教育支援チーム

- 家庭教育講座「ほわっと」開催
- 生活習慣啓発資料の作成・配布
- 訪問型アウトリーチによる直接支援

【静岡県】

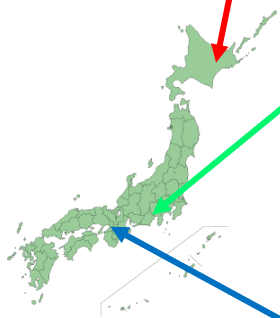
島田市家庭教育サポートチーム

- 家庭教育ワークシート「つながるシート」を活用した学習会の開催
- 就学時健診や入学説明会における「親学講座」の実施

【大阪府】

泉大津市家庭教育支援チーム

- 家庭訪問型と小学校配置型の2つの支援を組み合わせる活動
- 令和元年度から教育と福祉の連携を強化し、支援する保護者を拡大



主な活動内容

■家庭教育講座「ほわっと」の開催

家庭における生活・学習習慣、子供との関わり方等について学びを深める機会として、各学校の単位PTA研修会や幼稚園・保育所の参観日等の機会を活用した、訪問型家庭教育講座「ほわっと」を実施しています。より多くの保護者等が参加できるよう、子供の発達段階に応じた講座のテーマを設定するとともに、あらゆる機会を利用して、講座の案内や実施報告を周知しています。



【幼稚園保護者向け講座】



【親子の体力づくり】



【保護者交流】

■生活習慣啓発資料の作成・配布

「早寝・早起き・朝ごはん運動」、「くしろっ子 共に育てる10か条」等、家庭における生活習慣定着を啓発するリーフレット等を作成し、家庭教育講座や市内一斉に開催される小学校の新入学児童保護者説明会等の機会を活用して配布しています。



■訪問型アウトリーチによる直接支援

社会福祉法人と連携し、不登校等の教育的課題を抱える家庭への支援として、「ファースト・ステップ・プログラム」事業を実施しています。「釧路こども家庭支援センター」を拠点として、家庭訪問及び子供の通所支援、午前中を活用した活動支援、保護者への相談支援等を行っています。



【制作活動】



【イモ掘り体験】



【学習会】

活動の成果と今後の展望

- ・家庭教育講座の参加者が増加傾向にあり、「早寝・早起き・朝ごはん」の必要性や効果等の啓発が徐々に進んでいます。
- ・これまで家庭からの第一歩を踏み出すことができなかった児童生徒が本取組を通じて、協調性、社会性、忍耐力等が育まれ、生活リズムや不登校状況等が改善されるとともに、子供の成長を通して保護者も成長するなど、着実に家庭全体の支援における効果が現れています。
- ・北海道教育大学釧路校と連携し、学生のフィールド学習の場としても活用されており、将来の教員の人材育成の観点においても貢献しています。
- ・チーム設立から6年が経過し、今後も事業が持続し、より効果が発現されるよう日々改善を検討していますが、中学校での講座実績が低いことから、より一層の学校との連携や保護者のニーズに適合した取組の検討を続けていきます。

主な活動内容

家庭教育ワークシート「つながるシート」を活用した学習会の開催

市内の小学校(全 18 校)で、小学校 1 年生の保護者を対象に、「つながるシート」を活用したグループワークを行う学習会を開催しています。「つながるシート」は、子育てや家庭教育について自由に話し合う際に使用するワークシートです。地域や保護者の実情に合わせた、身近な内容の「島田版つながるシート」を作成し、活用しています。アイスブレイクで場を和ませ、シートに沿って日頃の何気ない悩みや不安についての話し合いを進めます。時には、子育てに関するヒントとして絵本の読み聞かせをしています。

アイスブレイクの様子



保護者同士の話し合いの様子



就学時健診や入学説明会における「親学講座」の実施

市内の小学校(全 18 校)で、就学時健診や入学説明会に合わせ、全ての保護者に家庭教育の学びを届ける「親学講座」を実施しています。ペアレントサポーターが講師となり、自身の失敗談などを交えながら話すことで、保護者が親近感を持って話を受け入れられるよう工夫しています。講座では、市独自の「親学ノート」を活用しています。より分かりやすい資料にするための改訂も行っています。

親学講座の様子



島田市独自の親学ノート (H29 改訂)

活動の成果と今後の展望

- ・ペアレントサポーターが和やかな雰囲気作りをしているため、保護者が安心して話し合うことができます。また、「先輩ママ」という身近な立場で、自身の失敗談を話したり、悩みを聴いたりすることで、保護者の不安を和らげています。
- ・市独自の資料を作成し改良することで、保護者の話し合いが活性化し、学びが深まっています。
- ・今後も全ての市内小学校で、「つながるシート」を活用した学習会と親学講座を継続して実施していきます。

都道府県名：大阪府

泉大津市家庭教育支援チーム



★子育てに悩みを抱えている保護者、相談できる人が近くにいないと孤立しがちな保護者に寄り添い、「意味あるムダ話」をしながら、保護者が子育てに対して自信をもてるよう、サポートをしています！

★家庭訪問型と小学校配置型の2つの支援を組み合わせて活動しています！

活動拠点を置く市町村

泉大津市：人口 74,548 人（令和元年 12 月 1 日現在）

【問合先】泉大津市教育委員会事務局 指導課 0725-33-9357

活動範囲

泉大津市内全域 和泉市（調整区域）

活動開始年月

平成 17 年 4 月

構成員

サポーター 9 人（子育て経験者 9 人）、市 SSW、市 CSW、市教委指導主事

活動形態

- ☒ 保護者への学びの場の提供 ☐ 地域の居場所づくり ☒ 訪問型家庭教育支援
☐ その他（ ）

活動対象

- ☒ 乳幼児 ☒ 小学生（低学年） ☒ 小学生（中学年） ☒ 小学生（高学年）
☒ 中学生 ☐ 高校生以上

の子供を持つ保護者に対する活動を実施

活動の目的・趣旨

★保護者の「エンパワメント」

①ひたすら保護者の話を聞きます！

- ☐ 保護者の話すことに耳を傾け（傾聴）、
保護者がしたい話をします
（保護者との「意味あるムダ話」）

②「お土産」を持って伺います！

- ☐ 保護者がもらってうれしい「お土産」
（=子どもの成長した姿、頑張っている姿）
を伝えます

③信頼関係を築いて、学校などにつながります！

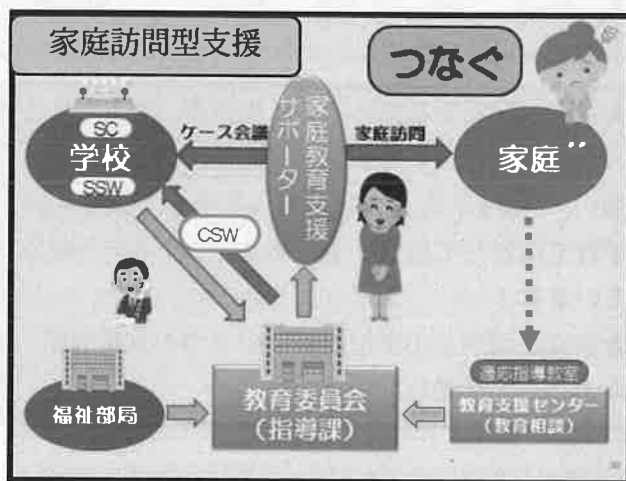
- ☐ 必要な場合は、福祉の専門家等と連携
して、必要な支援先につながります

④保護者が「エンパワメント」されてきたらフェードアウトします！

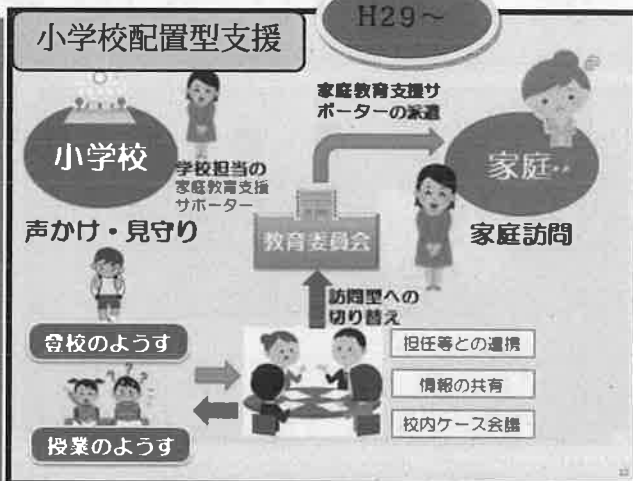
- ☐ 家庭教育支援サポーターは“松葉杖”
のような存在です

主な活動内容

家庭訪問型支援



小学校配置型支援



教育と福祉の連携強化

【取組み1】

支援する保護者を拡大

小・中学生
(6歳～15歳)



乳幼児
(0歳～6歳)

シームレスの支援

【取組み2】

福祉部局の担当者と連携強化

心理職
要対協職員
保健師
就学前施設
(公立・民間)

顔の見える関係

福祉部局からのオファー

全10件

■心理職 : 8件

■要対協職員 : 2件

活動の成果と今後の展望

〔活動の成果〕

・保護者が子育てに前向きになることによって、子どもの問題行動(落ち着きのなさ、暴力的な素行、不登校状態)にも改善傾向が見られるケースが増えています。

〔今後の展望〕

・できるだけ早い段階での支援開始をめざして、福祉部局との連携をさらに進めていきます！

活動実績

<家庭訪問型支援>

H29 訪問回数 101 回 支援した家庭数 : 13 家庭

H30 訪問回数 142 回 支援した家庭数 : 12 家庭

R1 訪問回数 93 回 支援した家庭数 : 20 家庭※
(福祉部局からのオファー含む)

<小学校配置型支援>

H29 配置回数 197 回 情報共有した家庭数 : 25 家庭

H30 配置回数 240 回 情報共有した家庭数 : 35 家庭

R1 配置回数 204 回 情報共有した家庭数 : 30 家庭※

※令和元年度については、12月末現在